

令和 7 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	22	学 校 名	吉田特別支援学校	記 載 者	松本 比呂美
------	----	-------	----------	-------	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
授 業	ア 「やりがいと手ごたえのある」授業の実践	・児童生徒は、それぞれにやりがいや手ごたえを感じて登校している。	A	A	・達成度が高くてよい ・児童生徒自身が自分にもできると実感できていると思う ・教員のやりがいと手ごたえも評価するとよい
	イ 地域と協働する教育課程の再編	・教員は、自分の担当単元の設定理由を語ることができる。 ・教職員は、授業準備や分掌業務に	A	A	・地域学習の成果で吉田町のことを家族より詳しく知っている ・なんとなく単元設定していることはないと思う
	ウ 教職員の専門性の向上のためのシステム作り	十分に組み合わせている（前年度比） ・教職員は、自分の決めたテーマに沿った研修を進めている。	B	B	・専門性の向上は上向きになってきているが、今後ずっと課題としていくことが大切
連 携	ア 児童生徒が主体的に取り組むキャリア教育の推進	・児童生徒が、自分の学習を振り返って記録する機会がある。 ＊キャリアパスポートの第一歩	B	B	・児童生徒自身が学びの積み重ねを自覚できていると思う ・ICT を上手く活用できれば学びの履歴が管理しやすいと思う
	イ 吉田町の特色を生かしたコミュニティスクールの推進	・学校運営協議会の提案により ICT 活用が広がっている。 ・学校間交流、交流籍を活用した共同学習により、互いに成果を確認することができている	B	A	・学校は受け身でなく、積極的に町づくりに参画していくとよい ・ICT の有効性は自覚した上でデジタル以外のこと、長年特別支援学校で大切にしてきた体験を通した学びにも注目してほしい ・積極的にできている ・同世代の交流がもっと増えるとよい

様式第5号

	ウ 生涯教育につながるスポーツ・芸術・読書活動の拡充	・一人一作品、作品展への応募ができています。 ・一人一スポーツ、一冊以上、好きなものがある。	B	B	・卒業後の生活の支えになるように展開してほしい ・生涯教育という意義がとても大切だと思う ・児童生徒から読みたい本をリクエストさせるのがよい
安心	ア 学校安全計画の更新と自他を大切にする心の育成	・児童生徒は自分の命を守るための行動がとれている。 ・児童生徒は、人を思いやる気持ちを持ち、行動することができている。	A	A	・安全性には十分気をつけていると思う
	イ 事故や大規模災害に備えた危機管理体制の強化	・教職員は、児童生徒の安全に対する想像力を働かせて、日々の業務にあたっている。	B	A	・実際に即した内容に更新しているのがよい ・常に見直しをしていくことができています
	ウ 守るために学ぶ教職員の育成	・教職員は人権感覚を磨き、児童生徒の見本となる行動がとれている。	A	A	・普段の指導を振り返ることができています